



<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず戸外に出て身体を動かして遊ぶ。 ・保育者や友だちと仕草や言葉でのやり取りを楽しむ。 ・秋から冬への自然の変化に興味を持ち自然物に触れることを楽しむ。 ・季節の行事の雰囲気を楽しむ。 	<p>行事</p> <p>避難訓練 身体測定</p>	<p>長時間保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登園、降園時と日中の気温差が大きくなるので気温に合った衣服の調節を行う。 ・加湿器や暖房を適宜使い快適に過ごせるようにする。 	<p>家庭連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく動きやすい服装での登園をお願いする。 ・家庭でもトイレに慣れていけるよう時間やタイミングを見ながらトイレに誘うようにしてもらう。 ・感染症への注意喚起と子どもの体調について緊密に伝えあう。 	<p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温が低い日も多くなってきたが衣服の調節を行いながら戸外遊びを十分に楽しむことができた。また季節の変化や違いに気付く姿も見られた。 ・手遊びや歌、絵本など多様な言葉のアプローチをしていくことで子どもたちからも言葉での発信が増え、保育者だけではなく友だち同士でも言葉のやり取りをしようとしていた。今後も見守りながら必要な援助を行っていく。
<p>今月の内容(養護・教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊びの後や食前の手洗いが習慣になるように言葉をかけたり見本を見せていく。 ・寒さの中でも元気で過ごせるように身体を動かす遊びを取り入れていく。 ・仕草や言葉で気持ちを伝えようとし、伝わる心地よさを味わう。 ・散歩時に保育者や友だちと手を繋いで歩く。 ・手先や指先を使った色々な遊びを楽しむ。(粘土・描画・パズルなど) ・楽しい雰囲気の中で、なるべく食具を使って食べようとする。 	<p>環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動では季節の変化を感じたり自然物に触れたりする機会を多く持つ。 ・身体を思いきり動かせる遊び(かけっこや追いかけっこなど)に誘っていく。 ・季節や子どもたちの成長に合わせた絵本や手遊び、歌などを用意する。 ・保育室の環境設定を見直し玩具の入れ替えやコーナー遊びの充実を図る。 ・衣服の着脱では一人一人の意欲に合わせて見守りながら必要な援助を行う。 ・テーブルに保育者がつき優しく援助をする。 	<p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候や気温の変化に留意しこまめに衣服の調節をする。また、乾燥など室内の環境にも気を配り暖房や加湿器を使用し体調管理に努める。 ・子どもの言葉や仕草から伝えたい気持ちをしっかりと受け止め言葉や態度で返していくことで伝わる楽しさや喜びに繋げていく。 ・子ども同士の関わりが増えてきてトラブルになることもあるがそれぞれの気持ちに寄り添いながらも、なるべく見守り気持ちのやり取りができるように援助する。 ・トイレや着脱など子どもたちの頑張りを褒めたり励ましたりして意欲に繋げていく。 	<p>取り組みの状況と保育士の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の習慣としての言葉がけと援助を行うことで手洗いは習慣となりつつあり自ら水道に向かえる児が増えきた。 ・子どもの体調について保護者とのこまめな連絡をとることで、咳や鼻水、乾燥肌などみられるものの悪化することは無く過ごせた。 ・子どもからの仕草や欲求を言葉にして都度、表していくことで自らも気持ちを言葉にしようとする姿が見られるようになった。 ・頑張りを褒めたり励まされている友だちを見て意欲が出てくる姿もあった。 ・見た目だけで食べない、ということが減ってきている。 ・引き続きそれぞれの子どもの様子や体調にあわせて活動を分け、しっかりと向き合い気持ちを汲み、優しく援助したり見守ったりしていく。 	